



目次

- 2 子育て世代包括支援センター事業
- 10 公共施設等総合管理計画
- 12 まちの出来事
- 14 災害
- 17 市からのお知らせ
- 19 イベント
- 20 募集
- 22 子育て
- 23 健康・福祉
- 25 掲示板
- 26 各種相談・文化
- 27 文化・スポーツ
- 28 図書館だより
- 29 キラキラきらめく・市長室
- 30 市民のページ

表紙

4月21日～23日、成羽町布寄の菜の花畑で「夫婦岩・菜の花まつり」が開催されました。当日は天気もよく、畑一面にきれいに咲いた菜の花が広がっており、子どもたちが元気よく遊んでいました。

人口

	人口・世帯数 (人・世帯)	前月比 (人・世帯)
総人口	31,583	+27
男性	15,172	+12
女性	16,411	+15
世帯数	14,602	+83

(平成 29 年 4 月末現在・外国人含む)

妊娠・出産・子育て期を切れ目なくサポート

高梁市子育て世代包括支援センターの取り組み

子育て世代包括支援センターは、妊娠から子育て期まで、切れ目のないサポートを提供する「ワンストップ拠点」です。
これまでの「たかはし版ネウボラ」(市の子育て支援・P9参照)をさらに充実させ、特に妊娠期、出産後の支援体制を強化しています。
今年から新たに始まる「産後ママ安心ケア事業」のほか、市が提供する充実のサポート体制について紹介します。



妊娠中や出産後の尽きない悩み・不安

～お母さんを取り巻く状況～

子どもを産み育てるには、悩みは尽きないし、体や心が疲れることもしばしばです。
最近のパパ・ママたちの中には「子どもを泣かせていると、虐待していると思われるのでは?」と不安になったり、「つい子どもをたたいてしまった。私は虐待する親ではないか」と不安になるなど、必要以上に神経質になり、育児を楽しめなくなっている現状があります。
他にも、「孤立化する子育て」や「経済的に苦しい」などたくさんの不安があります。
このような不安や心配に対応するため、子育て世代包括支援センター事業で「産み育てる力」をサポートしていきます。

妊娠届け出時面接

地区担当保健師が一人ひとりをサポートします

妊娠が分かったら、健康づくり課や地域局で母子健康手帳を受け取ってください。保健師が、妊婦さん一人ひとりに健康相談や母子保健サービスの紹介をしています。
住所地によってそれぞれの地区を担当する保健師がいて、母子健康手帳を交付する時に、顔写真入りの「担当保健師紹介カード」をお渡ししています。
その後も、妊娠中のプレママ相談、赤ちゃん訪問、育児相談、乳幼児健診など、就学を迎えるまで、お母さんや家族・子どもの気持ちに寄り添い、安心感をもっていただけるよう切れ目なくサポートしていきます。



市内の産婦人科医

八代医師のお話

尾島クリニック(柿木町)では、妊娠診断、妊婦健診、妊娠中の諸病の治療などを行っています。
妊娠経過に問題がなければ、妊娠8カ月までは当院で妊婦健診をして、妊娠32週ごろ、ご希望の分娩施設へ紹介をしています。
より高度な医療を要する可能性がある場合には、ご希望の総合病院産婦人科を紹介し、紹介先医師と連携しています。

出産後には、お母さんのちょっとした体調不良や、赤ちゃんの心配事がある場合にも相談をお受けしています。
地域の身近な産婦人科医として、妊婦さんのサポートを続けていきたいと考えています。



右:八代 義弘医師
左:八代 由里子医師



減少していた出生数が、平成28年は増加しました。



子育て世代包括支援センター

妊娠期のサポート